



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社関通 上場取引所 東
コード番号 9326 URL <https://www.kantsu.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 達城 久裕
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 片山 忠司 TEL 06-6224-3361
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	2,776	7.9	60	△54.4	57	△53.3	41	△46.0
2023年2月期第1四半期	2,571	—	132	—	123	—	76	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 41百万円 (△46.0%) 2023年2月期第1四半期 76百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	4.07	3.95
2023年2月期第1四半期	7.46	7.20

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	9,209	3,015	32.7
2023年2月期	9,471	3,259	34.4

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 3,014百万円 2023年2月期 3,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	5,579	9.2	102	△46.4	82	△52.8	55	△50.5	5.41
通期	11,756	12.0	669	70.8	624	73.1	387	△38.3	37.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	10,308,150株	2023年2月期	10,308,150株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	300,093株	2023年2月期	93株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	10,158,057株	2023年2月期1Q	10,264,182株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2023年7月14日付で当社ホームページ（<https://www.kantsu.com/ir/>）に掲載の予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年3月1日から2023年5月31日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、景気は緩やかな回復基調となった一方で、物価の上昇や世界的な金融引締めの影響等により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは一層の企業価値の向上を図るため、2023年4月14日付「中期経営計画のローリングに関するお知らせ」で公表しましたとおり、当社グループの一層の事業拡大のため、物流サービス事業、ITオートメーション事業それぞれの事業で、「お客様がやりたいことを実現できるサービスを提供する」ことを第一に、サービスレベルの向上に取組み、また協力先及び仕入先とのパートナーシップを強化し、当社グループが「唯一無二のパートナー」としてご認識いただける取組みを推進し、各セグメントにおいて業績の持続的な向上に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が2,776,122千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は60,540千円（前年同四半期比54.4%減）、経常利益は57,650千円（前年同四半期比53.3%減）親会社株主に帰属する四半期純利益は41,377千円（前年同四半期比46.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高は外部顧客への売上高を表示し、セグメント損益は四半期連結損益計算書における営業利益をベースとしております。

(物流サービス事業)

物流サービス事業におきましては、EC・通販物流支援サービスを中心に、引続き品質及び生産性向上のための改善活動に取組み、お客様満足度の一層の向上を推進しました。また、新規のお客様獲得のためSEO対策等のインターネットを通じた効果的なお客様の獲得、協力先との協業によるお客様の誘致を強化いたしました。

この結果、物流サービス事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は2,637,497千円（前年同四半期比8.2%増）、新設した物流センターの空床期間が長期化した影響等により、セグメント利益は21,200千円（前年同四半期比78.7%減）となりました。

(ITオートメーション事業)

ITオートメーション事業におきましては、倉庫管理システム「クラウドトーマスPro」は大規模案件の獲得、及びチェックリストシステムアニーについては「新人即戦力パッケージ」の販売を強化し、新規のお客様獲得は堅調に推移しました。

この結果、ITオートメーション事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は113,592千円（前年同四半期比5.9%増）、セグメント利益は39,989千円（前年同四半期比19.9%増）となりました。

(その他の事業)

その他の事業におきましては、障がい者のお子様向けの放課後等デイサービス及び障がい者の方向けの就労移行支援サービスが堅調に推移しました。

この結果、その他の事業に係る当第1四半期連結累計期間の売上高は25,032千円（前年同四半期比8.7%減）、セグメント損失は649千円（前年同四半期は67千円のセグメント利益）となりました。

[2024年2月期第1四半期 セグメント別連結経営成績]

(単位：千円、%)

セグメント区分	売上高			セグメント損益（営業損益）		
	実績	百分比	前年同期増減率	実績	売上高営業利益率	前年同期増減率
サービス区分						
EC・通販物流支援サービス	2,578,903	92.9	8.1	—		
受注管理業務代行サービス	40,398	1.5	35.2	—		
その他	18,194	0.7	△15.0	—		
物流サービス事業	2,637,497	95.0	8.2	21,200	0.8	△78.7
ITオートメーション事業	113,592	4.1	5.9	39,989	35.2	19.9
その他の事業	25,032	0.9	△8.7	△649	△2.6	—
セグメント合計	2,776,122	100.0	7.9	60,540	2.2	△54.4

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は9,209,037千円（前連結会計年度末比262,476千円の減少）、負債は6,193,110千円（前連結会計年度末比18,589千円の減少）、純資産は3,015,927千円（前連結会計年度末比243,887千円の減少）となりました。

主な増減要因は、次のとおりであります。

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,240,224千円（前連結会計年度末比914,040千円の減少）となりました。主な要因は、売掛金及び契約資産が96,776千円増加した一方で、現金及び預金が投資有価証券、固定資産及び自己株式の取得、並びに法人税等の支払等により、1,156,968千円減少したことによるものです。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は4,968,812千円（前連結会計期間末比651,563千円の増加）となりました。主な要因は、投資有価証券が352,144千円増加したほか、物流センターの新設にともなう敷金の支出等により敷金及び保証金が118,985千円増加したことによるものです。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,951,070千円（前連結会計期間末比209,340千円の減少）となりました。主な要因は、買掛金が44,167千円増加した一方で、法人税等の支払により未払法人税等が292,037千円減少したことによるものです。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は4,242,039千円（前連結会計期間末比190,750千円の増加）となりました。主な要因は、長期借入金が183,422千円増加したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,015,927千円（前連結会計期間末比243,887千円の減少）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益41,377千円を計上した一方で、配当金の支払額が103,080千円あったことにより利益剰余金合計が61,703千円減少し、また自己株式が182,184千円増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年4月14日公表の「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で開示いたしました連結業績予想から、変更はありません。

なお、当該資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,432,524	2,275,555
電子記録債権	277,472	274,768
売掛金	972,380	—
売掛金及び契約資産	—	1,069,157
有価証券	—	100,000
商品	302	—
仕掛品	4,189	6,181
その他	473,321	520,514
貸倒引当金	△5,927	△5,953
流動資産合計	5,154,264	4,240,224
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,426,273	1,473,052
機械装置及び運搬具（純額）	162,131	180,661
土地	138,871	138,871
リース資産（純額）	240,332	234,250
建設仮勘定	114,429	114,429
その他（純額）	291,158	372,493
有形固定資産合計	2,373,198	2,513,758
無形固定資産		
ソフトウェア	259,651	277,498
その他	349	349
無形固定資産合計	260,001	277,847
投資その他の資産		
投資有価証券	—	352,144
長期貸付金	12,000	24,000
繰延税金資産	146,732	146,732
敷金及び保証金	1,089,583	1,208,568
その他	436,509	446,536
貸倒引当金	△776	△776
投資その他の資産合計	1,684,049	2,177,206
固定資産合計	4,317,249	4,968,812
資産合計	9,471,514	9,209,037
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,734	308,901
1年内返済予定の長期借入金	795,352	795,403
未払法人税等	318,381	26,344
賞与引当金	34,458	51,810
リース債務	26,922	26,965
事業構造改善引当金	321,967	293,279
その他	398,593	448,367
流動負債合計	2,160,410	1,951,070
固定負債		
長期借入金	3,228,071	3,411,493
資産除去債務	371,904	385,990
リース債務	221,035	214,277
事業構造改善引当金	9,000	9,000
その他	221,277	221,277
固定負債合計	4,051,288	4,242,039
負債合計	6,211,699	6,193,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	788,275	788,275
資本剰余金	774,275	774,275
利益剰余金	1,695,773	1,634,070
自己株式	△109	△182,293
株主資本合計	3,258,214	3,014,327
新株予約権	1,600	1,600
純資産合計	3,259,814	3,015,927
負債純資産合計	9,471,514	9,209,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	2,571,766	2,776,122
売上原価	2,202,368	2,437,105
売上総利益	369,398	339,017
販売費及び一般管理費	236,686	278,476
営業利益	132,711	60,540
営業外収益		
受取利息	151	4,936
受取地代家賃	1,017	427
助成金収入	1,294	1,701
物品売却益	1,173	1,685
その他	868	415
営業外収益合計	4,505	9,166
営業外費用		
支払利息	12,135	10,522
その他	1,650	1,533
営業外費用合計	13,786	12,056
経常利益	123,430	57,650
特別損失		
固定資産除却損	0	—
倉庫移転費用	12,571	—
特別損失合計	12,571	—
税金等調整前四半期純利益	110,858	57,650
法人税等	34,246	16,273
四半期純利益	76,612	41,377
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,612	41,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	76,612	41,377
四半期包括利益	76,612	41,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,612	41,377
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式300,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が182,184千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が182,293千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,437,119	107,224	2,544,343	27,422	2,571,766	—	2,571,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,437,119	107,224	2,544,343	27,422	2,571,766	—	2,571,766
セグメント利益	99,301	33,341	132,643	67	132,711	—	132,711

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流サービス 事業	ITオート メーション 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,637,497	113,592	2,751,090	25,032	2,776,122	—	2,776,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,637,497	113,592	2,751,090	25,032	2,776,122	—	2,776,122
セグメント利益又は損 失(△)	21,200	39,989	61,190	△649	60,540	—	60,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国人技能実習生教育サービス及びその他教育サービスを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。